

平成25年度(平成25年4月～平成26年3月)
渡島管内訪日外国人宿泊客数調査

渡島総合振興局 産業振興部 商工労働観光課

「訪日外国人宿泊客数調査」について

本調査は、道が平成22年2月に制定した「北海道観光入込客数調査要領」(「訪日外国人観光客動態調査」(H9.2月制定)に準ずる)に基づき、各市町村の宿泊施設等における宿泊外国人の「国別宿泊客数」及び「国別宿泊客延数」について、調査を実施しております。

○用語の定義

『訪日外国人』

日本以外の国に居住している者で、訪日の目的が報酬を得ることではない観光客。

『宿泊施設等』

旅館業法に定めるホテル、旅館、簡易宿所及びキャンプ場

1 概況

- (1) 平成25年度(平成25年4月～平成26年3月、以下同様)に管内を訪れた外国人宿泊客数は約31万人で、対前年同期比157.7%、実数にして約11万4千人の増加となりました。増加の要因としては、一昨年9月、10月に就航した函館ー台北定期航空便を利用する台湾からの観光客の増や、円安による訪日旅行の割安感が影響しているものと考えられます。

【外国人宿泊客数】

(単位:人・%)

| | 平成25年度 | 平成24年度 | 増減 | 対前年同期比 |
|------|---------|---------|---------|--------|
| 宿泊客数 | 310,445 | 196,874 | 113,571 | 157.7% |

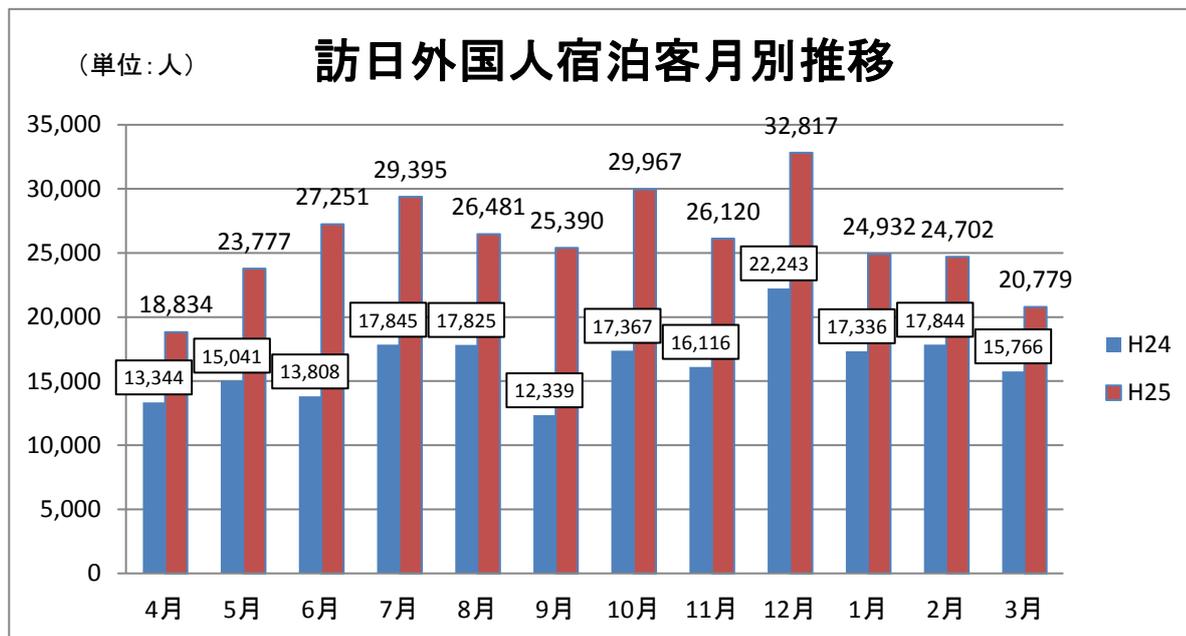
- (2) 国別の宿泊客数では、台湾が対前年同期比159.3%、香港同262.4%、タイ同354.9%となりました。函館ー台北間の定期航空便や、一昨年10月に就航した新千歳ーバンコク間の定期航空便の利用客増や、昨年7月からの東南アジア5カ国に対する査証緩和の効果と考えられます。

(単位:人・%)

| 順位 | 国名 | 平成25年度 | 平成24年度 | 増減 | 対前年比 |
|--------------------------|--------|---------|---------|---------|--------|
| 1位 | 台湾 | 223,272 | 140,173 | 83,099 | 159.3% |
| 2位 | 香港 | 16,857 | 6,424 | 10,433 | 262.4% |
| 3位 | 中国 | 15,818 | 10,531 | 5,287 | 150.2% |
| 4位 | 韓国 | 14,787 | 20,706 | ▲ 5,919 | 71.4% |
| 5位 | タイ | 9,163 | 2,582 | 6,581 | 354.9% |
| 6位 | シンガポール | 7,214 | 6,901 | 313 | 104.5% |
| 7位 | アメリカ | 2,541 | 1,665 | 876 | 152.6% |
| 8位 | マレーシア | 2,400 | 1,124 | 1,276 | 213.5% |
| 上記以外の国(オーストラリアなど、その他を除く) | | 4,281 | 1,937 | 2,344 | 221.0% |
| 小計 | | 296,333 | 192,043 | 104,290 | 154.3% |
| その他 | | 14,112 | 4,831 | 9,281 | 292.1% |
| 合計 | | 310,445 | 196,874 | 113,571 | 157.7% |

【参考資料】

1 訪日外国人宿泊客数の推移(月別)



2 国別宿泊客数・構成比

